

○ 基本的考え方

国土幹線道路部会の間答申を踏まえ、

- ・実施目的を明確にした上で、効果が高く重複や無駄のない割引となるよう見直し
- ・生活対策、観光振興、物流対策などの観点を重視しつつ、高速道路の利用機会が多い車に配慮

○ 具体的な内容

生活対策

- ・並行する一般道路における通勤時間帯の混雑緩和のため、地方部の通勤割引を通勤時間帯に多頻度利用する車を対象とする割引に見直して継続
- ・高速道路を利用する機会が多い車の負担を軽減するため、マイレージ割引について、最大割引率を9.1%に見直して継続

観光振興

- ・観光需要を喚起し、地域活性化を図るため、地方部の休日割引について、割引率を3割として継続

物流対策

- ・主に業務目的で高速道路を利用する機会が多い車の負担を軽減するため、大口・多頻度割引について、最大割引率を4割として継続

環境対策

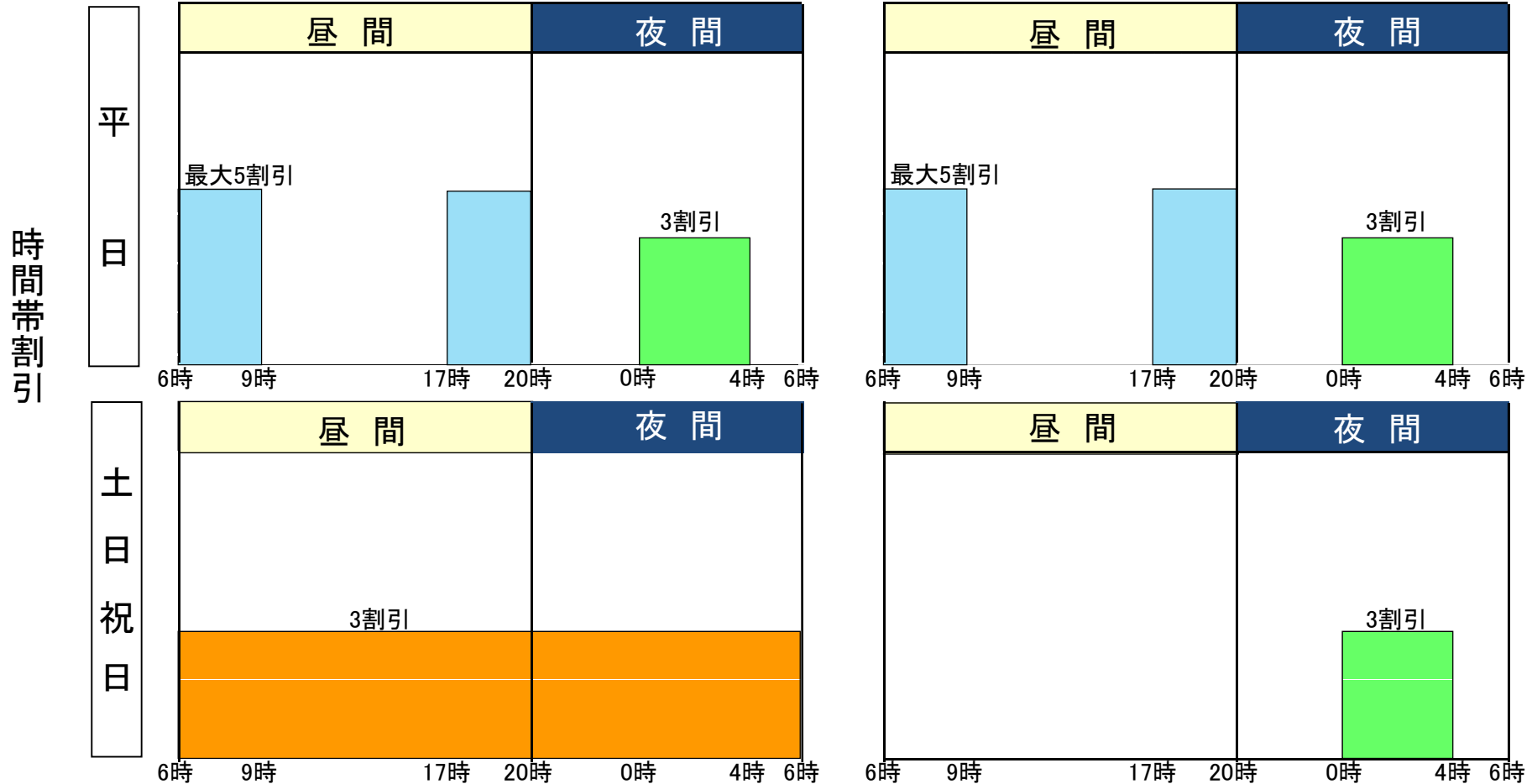
- ・一般道路の沿道環境を改善するため、深夜割引について割引率を3割として継続

新たな料金割引(案)

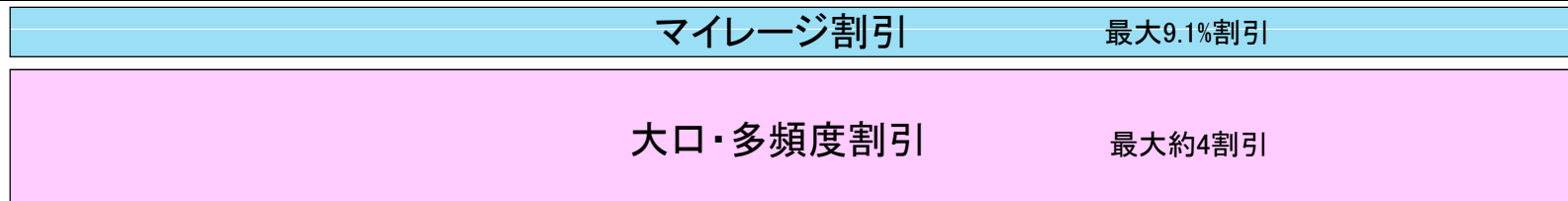
地方部

小型(普通車以下)

大型(中型車以上)



利用頻度割引



新たな料金割引(案)

大都市部

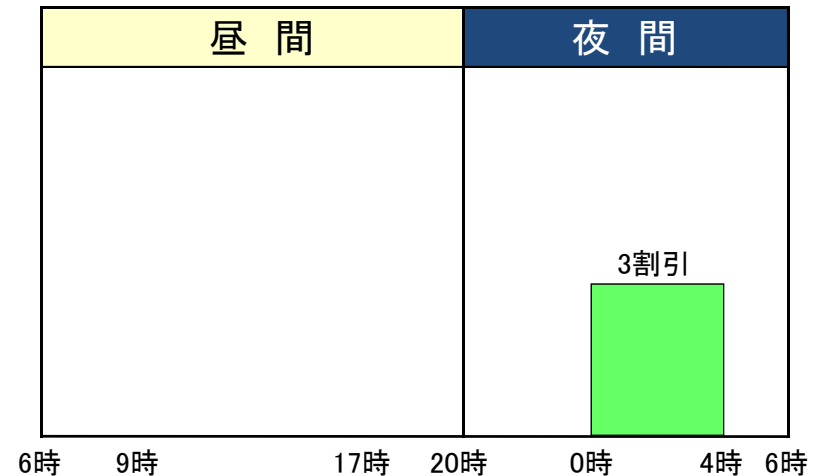
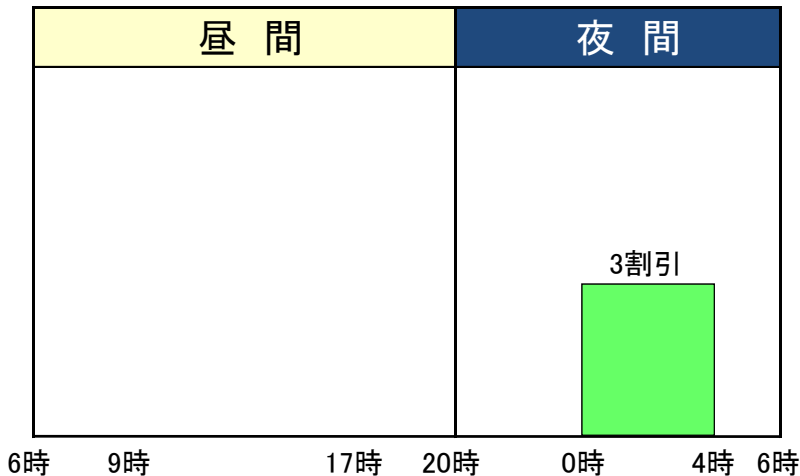
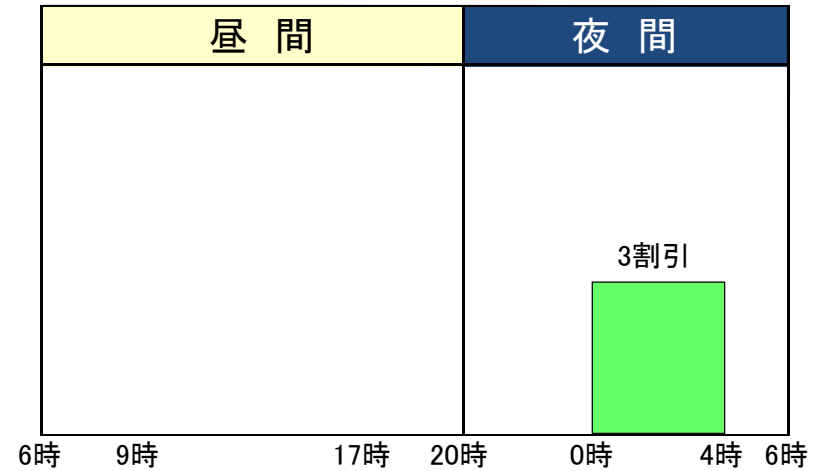
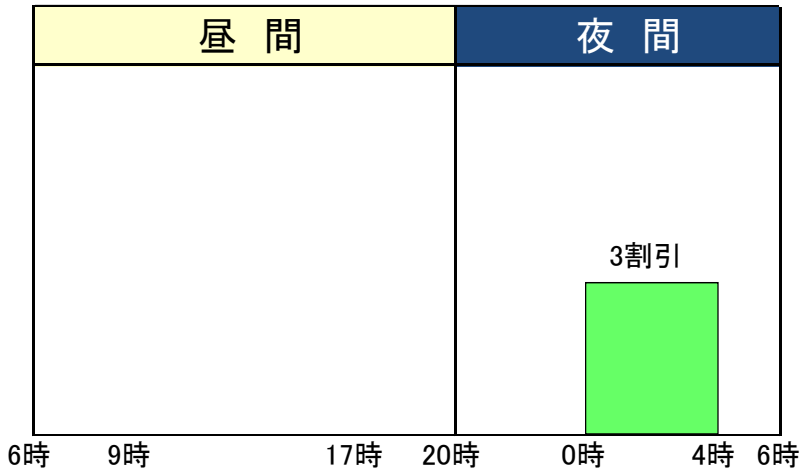
小型(普通車以下)

大型(中型車以上)

時間帯割引

平日

土日祝日



利用頻度割引

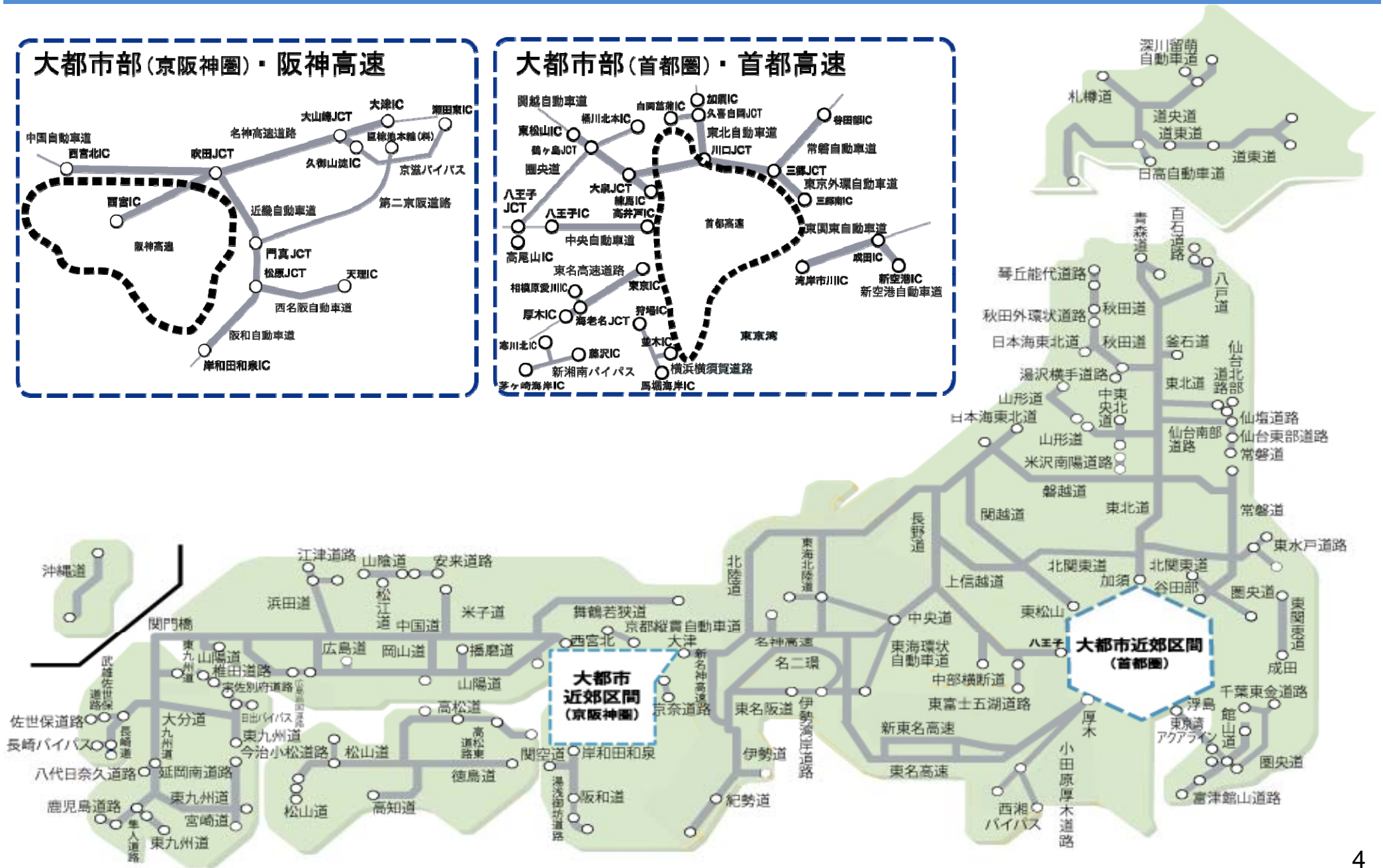
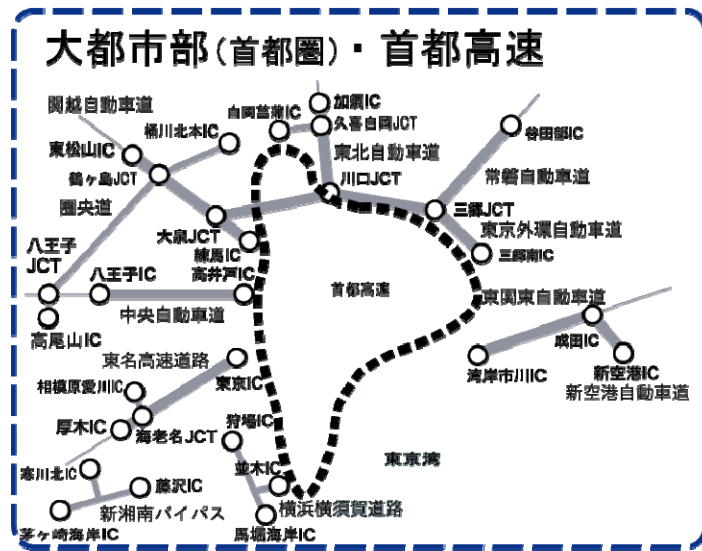
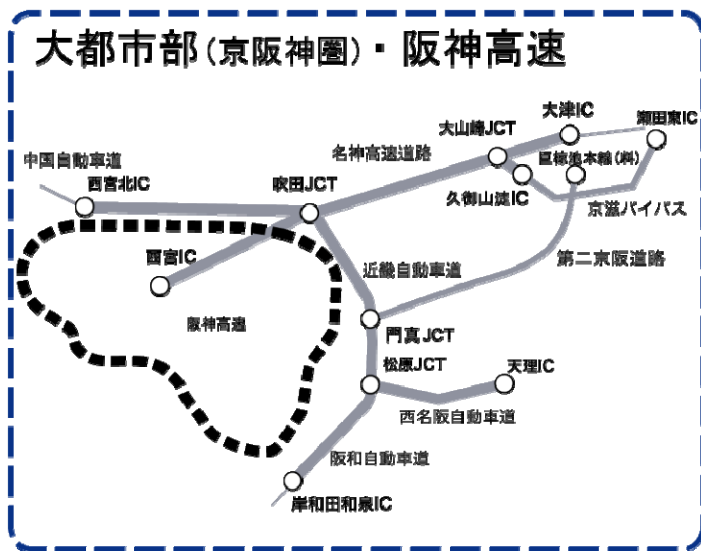
マイレージ割引

最大9.1%割引

大口・多頻度割引

最大約4割引

高速道路(NEXCO)料金割引の対象路線図



都市間高速道路料金割引検討会

検討会名 都市間高速道路料金割引検討会

委員名簿

委員長	杉山 雅洋	早稲田大学名誉教授
委員	赤羽 弘和	千葉工業大学工学部建築都市環境学科教授
	家田 仁	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授
	石田 東生	筑波大学大学院システム情報工学研究科教授
	太田 和博	専修大学商学部教授
	竹内 健蔵	東京女子大学現代教養学部教授
	橘 洋介	八戸学院大学ビジネス学部専任講師
	田邊 勝巳	慶應義塾大学商学部准教授
	中村 文彦	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授
	根本 敏則	一橋大学大学院商学研究科教授

(敬称略、五十音順)